

学生農業団体とりベジ スモールコアプロジェクト最終報告

・ 題目

中間報告以降の諸活動と春作に向けた準備

・ 目的

弊団体は、農業生産活動と生産物の活用により、あらゆる地域課題の解決を目的とする農業団体です。昨年度に比べ、弊団体の活動規模を拡大したため、生産基盤となる農場の灌漑設備拡充が必要になってきたことから農業用ポンプ等を購入しました。**当報告書では、中間報告から現在に至るまでの諸活動内容、購入した農業用ポンプ等の設置と春作に向けた活用について記しています。**

・ 現状の活動報告

この期間の活動内容は主に、〈タマネギと夏野菜の出荷調整〉〈公民館及び他団体との地域貢献事業への参加〉〈風紋祭での出店〉の三つに分けられます。まず生産活動としては、鳥取特有の品種である三宝甘長唐辛子や、ナス、ピーマン等の夏野菜とタマネギの出荷調整及び、直売所や地域販売での販売を行いました。更に、株式会社 Axis 様にも定期的にタマネギの買い取りをして頂いており、Axis 様の事業の一つである、「**Axis のやさい定期便**」として、鳥取県外の方にも、とりベジのタマネギが届いているとお聞きしています。地域貢献事業では、NPO 法人「みんなの居場所ぽっと」様主催のマルシェでの販売、湖山地区文化祭での蒸かし芋の販売、「湖山 PV プロジェクト 輪っしょい」様主催の、鳥大生とおしゃべり健康ツアーへの参加及び当日の弁当を用意して下さった「**mash café**」様への野菜提供があります。最後に、風紋祭の出店では、我々が生産した**タマネギとジャガイモを使用したポトフ**と、**野菜味噌を使用した焼きおにぎり**を提供しました。このように活動規模は中間報告時よりも大きくなっており、これら活動の基盤となる農業生産において、灌漑設備の使用は効率的であり、更なる地域貢献活動に寄与できると考えます。



図 1 野菜出荷の様子



図 2 湖山地区文化祭の様子



図 3 おしゃべり健康ツアーの様子



図 4 風紋祭での活動の様子



図 5 提供したポトフ



図 6 Axis のやさい定期便のイメージ
(公式 Instagram より引用)

・結果及び今後の予定

上述のように、様々な活動をしてきた甲斐があり、Axis 様とのご縁もあって、FM 鳥取様の「とどけ、未来」というラジオ番組に出演させて頂くことができました。



図 7 ラジオ収録後の様子

しかしながら、畑の現状としては、まだ灌漑設備の設置はできていません。中間報告の時点では、秋季及び冬季の作目に灌漑設備の使用を予定していましたが、秋季の作目に関しては昨年度の 7 月 13 日の大雨にて畑が冠水した事により、水抜き及び畑の立て直しが必要になった背景から、灌漑設備の設置が不可能になりました。そのため、冬季の作目での使用を予定していましたが、こちらも当初予定していた時間より出荷調整と販売に時間がかかってしまい、様々な地域貢献事業や風紋祭の準備期間とも重なってしまったため、まだ使用には至っておりません。

そこで、春及び夏作からの使用を検討しており、具体的には、**・ナス・シントウ・エダマメ・トウモロコシ**等の作目の栽培を 3 月上旬から行う予定です。2 月下旬からは草刈り・耕耘等、耕作のための準備を開始します。



図 8 設置予定のエンジンポンプ



図 9 設置予定の貯水タンク

また、今年度の作付けは、「**多量少品目**」を念頭に、灌漑設備を最大限活用すべく、集中管理できる作目を厳選し、効率的かつ無理のない栽培スケジュールのもと活動していく予定です。その一環として、耕作面積を一部～約半分削減し、**イベントスペースの設置**を試みようと考えています。具体的には、クローバー等のカバープランツで、地域の方向けのイベントを開催できるスペースを農場内に設けようと考えています。理由としては、とりベジは地域と密接に関わりながら活動している農業団体であるため、農場内でイベントができるスペースが常時あると、生産した野菜を使用した BBQ や収穫した野菜をその場で食べる等の体験型イベントの企画及び運営が可能になるからです。

上述のとおり、**今年度は地域貢献事業や企業・他団体との事業は引き継ぎつつ、耕作に関しては、灌水設備を最大限活用した集中的で効率的な栽培を念頭に活動していく所存です。**